

ぽれぽれ



通信

vol.19

文部科学大臣政務官
復興大臣政務官
衆議院議員 (2期 6年)

第19号【11・12月号】

栄区 鎌倉市
逗子市 葉山町

山本ともひろ

39歳



復興加速のために 文科省と復興庁の懸け橋となる！

2年前の選挙公約において、山本は最優先課題として復興を掲げていた事をご記憶だろうか。その思いが通じたのか、第二次安倍改造内閣において、文部科学大臣政務官とともに復興大臣政務官も拝命し、原子力災害からの復興に関し両組織の架け橋として働いている。今号では、原子力災害からの復興を中心に、復興の今をお伝えしたいと思う。

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、宮城県北部で最大震度7を観測する未曾有の大地震であり、地震の揺れと押し寄せた津波で大きな被害をもたらしただけでなく、東京電力福島第一原子力発電所（以下、福島第一原発）の事故を引き起こした。震災のあの日、神奈川県東部・西部でも最大震度5強を記録しているので、あの揺れをまだ覚えている方も多いだろう。また、その後、神奈川県でも放射性物質の問題が日常の中で語られるようになった。が、それから3年半が過ぎ、ここ神奈川県では、震災の爪痕は周囲から消えつつあるのではないだろうか。

しかしながら、東日本大震災からの復興は道半ばであることを、政務官就任直後に改めて思い知らされることになった。山本が現地現場主義を実践していることは前号の本紙でも述べたが、たとえ政務官になったとしてもそれは変わらない。就任後3日目には、福島県を訪問し、福島第一原発周辺自治体から避難している方々から色々な御意見をいただいたが、さらに、当初の予定には無かったものの、現地をお願いして仮設住宅を見せていただいた。仮設住宅を御覧になったことが無い方は、工事現場などにあるプレハブ小屋をイメージしていただきたい。そこに3年以上も暮らしている方々がまだまだいらっしやることを拝見し、内閣の一員として、復興への決意を新たにしたい。なお、

仮設住宅の入居者数は、減少してきているが、今年6月時点で、約9万3千人で、避難者総数は、24万7千人もいるのである。

福島県では、福島第一原発の周辺を中心として避難指示が出ていることもあり、今年10月時点で4万6千人を超える方が県外に避難している。復興の加速化には、それらの方々が福島へ戻ることが重要であるが、そのためには子供達の教育環境を整備することが欠かせない。福島県では、現在、ふたば未来学園高等学校の来年4月の開校を目指して準備を進めており、将来的には中高一貫校とすることも検討されている。このプロジェクトについては、同じ復興政務官である小泉進次郎政務官とも密に連携して、まさに山本自身が復興庁と文科省の架け橋として、地元の御意見もお伺いしながら、福島のために、そして子供達の未来のために、力を尽くしているところである。

また、福島第一原発の廃炉作業を安全かつ迅速に進めることも復興に不可欠である。そのため、文科省と経産省で協力し、福島第一原発の廃炉に必要な遠隔操作技術、ロボット技術等の開発拠点として「櫛葉遠隔技術開発センター」を櫛葉町に整備することとなった。本年9月末に起工式が行われ、山本が、文科省を代表してご挨拶し、安全祈念の鍬入れも行った。山本の一鍬は小さなものであるが、



【櫛葉遠隔技術開発センター 起工式でご挨拶する山本】

《ウラ面へつづく》

政治家って普段何してるの?!

誰もが疑問に思うこと！その疑問に山本ともひろが、twitterとFacebookを使いお答えします。そこには、普段考えもしなかった政治家の活動や苦悩があります。アクセス、フォローお待ちしております。



衆議院議員 山本ともひろ プロフィール

- 昭和50年(1975年)生まれ 39歳 鎌倉在住
- 関西大学 商学部 商学科 卒業
- 京都大学 大学院 法学研究科(行政学) 修士課程 修了
- (財)松下政経塾 卒塾(21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年(2005年)衆院選 京都2区(近畿) 初当選
- 平成24年(2012年)衆院選 神奈川4区(南関東) 2期目の当選
- 平成26年(2014年)文科大臣政務官・復興大臣政務官 就任

それが復興の大きな槌音につながるように精一杯努力し続けるしかない。福島第一原発の廃炉作業は緒についたばかりであり、これから長い年月を要することが予想されるが、科学技術の力で一日でも早く完了できるよう支援していきたい。

ところで、政務官を拝命すると、国会だけでなく、各種会議や省内の事務等のため、東京を離れることが難しくなるので、福島県などの首長さんや議長さん達が山本を訪ねて東京へいらっしやることも多々ある。そんなときは、政務官室にお迎えし、ざっくばらんに御意見を拝聴する。「せっかくの機会なので、事務的に調整された要望にとどまらず、何でも仰ってください。」と言うと、えっ?! そんなこと言って良いのという感じで一瞬戸惑う方も多いが、事務方と話をしているだけでは分からないことも色々とお伺いできる。これも一つの現地現場主義である。↗

最後に、首長さん達がいらっしやった際によく話題となる原子力損害賠償であるが、福島第一原発の事故で損害を受けた場合、原子力損害の賠償に関する法律に基づき、東京電力から賠償を受けることができる。文科省では、被害を受けた方々への賠償がスムーズに進むよう、有識者による原子力損害賠償紛争審査会を設置し、さらに、被害を受けた方々と東電との間の和解を仲介するため、原子力損害賠償紛争解決センター（ADRセンター）を設置し、これまでに約1万1千件の御相談を仲介している。文科省への要望として、指針の適用に関して柔軟な対応を求める声をよく聞くが、もとより、全ての被害者の方々に迅速かつ適切な賠償を受けていただくことは大前提なので、御安心していただきたい。なお、ADRセンターは誰でも、無料かつ裁判より簡便な手続で利用できるのも、もし、福島第一原発の事故による損害でお困りの方がいらっしやれば、是非活用していただきたい。

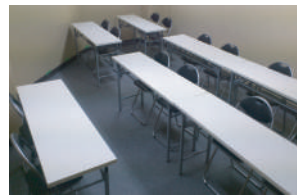
会議をするなら自由民主4区会館。



JR鎌倉駅(西口)前にある自由民主4区会館は、山本ともひろの活動を支えるためだけに使うのではなく広く世に開放しています。2つの会議室を擁し、事前に予約をして頂ければ、ご利用頂けます。

但し、公職選挙法により無料で開放することが出来ません。従って右記の通り使用料を頂きます。地域や町内の活動のための会議などにご活用頂ければ幸いです。定期的、或は商業目的にご使用になる場合はご相談下さい。

【自由民主4区会館】



【第1会議室】



【第2会議室】

○自由民主4区会館 定員と使用料

種類と定員	使用料(円)		
	午前 9-12時	午後 13-17時	夜間 18-22時
第1会議室(15人)	1,000	1,000	1,000
第2会議室(15人)	1,000	1,000	1,000

住所:鎌倉市御成町12-4 JR鎌倉駅西口前
TEL:0467-39-6933

あなたの駅は何枚でしょう? ぼれぼれ通信 vol.18

山本ともひろ後援会機関紙「ぼれぼれ通信」を4区内の右記の駅で朝の6:30~8:30までの2時間駅頭活動をさせて頂き本紙を配布させて頂いております。雨の日は、鞆と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動は行っておりません。

9月と10月の配布状況は右の通りです。皆様のご利用の駅はどのような状況でしょうか?

ぼれぼれ通信の由来

ぼれぼれとは、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意味。一度に全てを変えることは無理だけど、それでも諦めずにゆっくりでも、少しずつでも政治を変えていきたい。それを誰かが、やらなければ、この国は良くならない。その活動を本紙でご報告します。↗

私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせ、政治を志すきっかけとなりました。だから、その国の言葉を使うことにしました。twitterやFacebookのアカウントのpolepoleもその思いからです。本紙をどうか末永くご愛読の程よろしくお願い申し上げます。

9月	駅名	枚数	10月	枚数	前月比
9日(火)	逗子駅	419	1日(水)	379	▲
10日(水)	新逗子駅	424	3日(金)	325	▲
12日(金)	鎌倉駅(東口)	476	8日(水)	570	▽
16日(火)	鎌倉駅(西口)	462	10日(金)	306	▲
24日(水)	大船駅(西口)	497	17日(金)	519	▽
18日(木)	大船駅(モルル口)	465	27日(月)	472	▽
30日(火)	大船駅(東口)	481	20日(月)	268	▲
17日(水)	大船駅(笠間口)	576	28日(火)	426	▲
26日(金)	本郷台駅	235	30日(木)	383	▽
19日(金)	港南台駅	132	24日(金)	216	▽
9月配布合計		4,167	10月合計	3,864	▲

- ・本部事務所 神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943
- ・国会事務所 東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室 TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623
- ・自由民主4区会館 神奈川県鎌倉市御成町12-4 山田ビル3F TEL:0467-38-6411
- ・文部科学大臣政務官室 東京都
- ・復興庁